



1

かみ しん すく あと せいちょう かんが
神を信じて救われた後、クリスマンとして成長していくことを考えたことがあ
りますか？ あなたは成長したいですか？

2

よ せいちょう ひつよう しゅうかん
P71 ~ 81 まで読んで、クリスマンとして成長するために必要な7つの習慣で、
じぶん いちばんむずか かん なん
自分が一番難しく感じるものは何ですか？

3

しゅうかんが かんが
どうしたら習慣化できるか考えてみましょう。

復習タイム

- ◆ 聖書は神の「^{せいしょ かみ}」です。「^よ」読みましょう。分からないところを飛ばして、ひとまず聖書を「^よ」読んでみましょう。「^{まな}」などで学ぶことも良いですが、「^{かた}」にどのように語っておられるか思い巡らすことが大事です。
(参照：P71～72)
- ◆ 祈りは神と人間の「^{いの}」です。まず「^よ」と呼びかけ、神をほめたたえ、神からの恵みに「^{めく}」し、「^く」を悔い改めたり、「^い」を言ったり、他者の為の「^{おす}」をしったりして、最後に「^{せいれい}」と結びます。聖霊によって祈り、「^{いの}」でも祈りましょう。(参照：P73～75)
- ◆ 礼拝はクリスチャンが集まって神を「^{あつ}」し、「^{かみ}」をいただき、祈り、献金する大事な時です。休まず、「^{やす}」しないで行きましょう。「^い」など諸集会にもできるだけ出席しましょう。(参照：P75～76)
- ◆ 奉仕は教会を形成し自分の信仰を「^{せいせい}」させます。教会はあなたの奉仕を「^{ほうし}」としています。それは「^し」や強いられて行うものでなく、「^{おこな}」をいただくものです。(参照：P76～77)
- ◆ クリスチャン同士の交わりはお互いを成長させます。互いに「^あ」合い、「^あ」を高め、救われたこと、「^{めく}」の恵みや感謝を語り合ひましょう。
(参照：P77～78)
- ◆ 誰かに伝道することはキリストから与えられた「^あ」です。「^{さそ}」に誘ったり、自分の救いの「^{しゅ}」や、主イエスの「^{かた}」を語っていきましょう。
(参照：P78～79)
- ◆ 私たちは誰かの献金によって救われました。「^{ため}」の為に、教会の維持運営のために、感謝と喜びを持って捧げましょう。「^{けんきん}」献金、「^{けんきん}」献金、「^{けんきん}」献金、「^{けんきん}」献金などがあります。(参照：P79～80)

いの お祈り

てん かみさま しゅうかん み わたし しんこう せいちょう
 天の神様、7つの習慣を身につけて私の信仰を成長させてください。
 みな いの
 い。御名によって祈ります。アーメン。

CHAPTER
2-1

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ
教会生活・信仰生活



実践編 (じっせんへん)

テキスト P82~100

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ なに こま お わ ほくし
教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師
に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩や同じような経験をした方の証を聞く
のも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。

1

あなたには教会生活を送っている中で問題が生じたとき、相談したり、祈ってく
れる人がいますか？

2

P82 ~ 93 まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？

3

かんれん あたら わ きもん すこ たす なに
関連して新しく湧いた疑問や、もう少し尋ねてみたいことが何かありますか？

4

ひとり しつもんしゃ ひとり こた やく わ せつめい
一人が質問者、一人が答える役になって、分かるように説明できるか、ロールプ
レイをしてみましょう。

復習タイム

- ◆ 洗礼は「^{せんれい}」の表明ですから受けるべきです。「^{ひょうめい}」など
で学びましょう。(参照：P82～83)
- ◆ 洗礼を家族に反対されたら理由を聞き、「^{せんれい}」は避けて、受けたことを穏やかに
話ししましょう。信教の「^{しんきょう}」が法律にあるので、洗礼は自分で決められますが、
家族と悪い関係にならないように気を付けましょう。(参照：P83～84)
- ◆ 礼拝に出席できない時は牧師に知らせ、他の「^{りゆう}」や曜日、ネットなどを利用して
礼拝できるように工夫しましょう。(参照：P84～85)
- ◆ 遅刻は一つになっている参加者の礼拝への心をそらしてしまうかもしれません。しないよ
うに気を付け「^き」分前には教会に着いていきましょう。また遅刻される方は
事情があるかもしれないので祈りましょう。(参照：P85～86)
- ◆ 日曜日が休みでないクラブ活動や仕事を選ぶときは、それが神様の御心かどうかをまず祈
りましょう。また礼拝を守る工夫をし、クリスチャンとの「^{おこな}」も行えるよう
にしましょう。(参照：P86～87)
- ◆ 奉仕は強いられではなく、「^{おこな}」をもって行いましょう。頼まれたらやってみる
ことも大切ですし、きちんと引き次いで止めることも可能です。教会員になったばかりの
人が奉仕を行い過ぎたり、「^{おこな}」より奉仕に重点が置かれそうなら断ることも出来
ます。(参照：P87～88)
- ◆ 自分にもできる奉仕は必ずあります。「^{おこな}」が何か見つけていきましょう。
(参照：P88～89)
- ◆ 礼拝だけでなく交わりも大切です。礼拝後少し残ったり、平日やルールを守って
「^{おこな}」などを利用して、良い交わりを持ちましょう。(参照：P89～90)
- ◆ どうしても苦手な人が出来てしまったら、まず祈って、「^{おこな}」は工夫しても休まな
いようにしましょう。(参照：P90～91)
- ◆ 教会の信徒グループは交わり(お互いの成長)と「^{おこな}」の為に大事な活動です。グ
ループに属することに抵抗があるならば、その理由を見つめ、問題の解決を図りましょう。
(参照：P91～92)
- ◆ 集会以外にも教会に来て良いかは教会によって違いますので牧師に気軽に聞いてみま
しょう。自由に来れる教会でも牧師の働き「^{おこな}」にはならないように気を付けま
しょう。(参照：P92～93)

いのちのお祈り

天の神様、教会生活の中でいろいろな疑問や悩みが出てきても、
祈って乗り越えて行けますように。助け手となってくれる先生や
兄弟がいることを感謝します。御名によってお祈りします。アーメン。



実践編 (じっせんへん)

テキスト P82~100

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ なに こま
教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、わからないことがあったら、牧師
ほくし
に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩やおなじような経験をした方の証を聞く
き そうだん よ しんこう せんぱい おな けいけん かた あかし き
のも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。
よ じぶん いの きょうかい いの

1

あなたにとって献金(けんきん)はどのようなイメージがありますか？

2

P93 ~ 100 まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？

3

かんれん あたら わ きもん すこ たす なに
関連して新しく湧いた疑問や、もう少し尋ねてみたいことが何かありますか？

4

ひとり しつもんしゃ ひとり こた やく わ せつめい
一人が質問者、一人が答える役になって、分かるように説明できるか、ロールプレイをしてみましょう。

復習タイム

- ◆ 献金は自由で「^{けんきん} ^{じゆう} ^{たい} ^{おこな}」^{てき} 的なものではありませんが、^{きょうかい} ^{かつどうひ} ^{ひつよう} 教会の活動費は必要です。「^{かんが} ^{さんしやう}」^{たい} に対して行っていると確信して自分で決めて行いましょう。(参照：P93～94)
- ◆ 十分の一献金をするのが難しい時は、自分の「^{じゅうぶん} ^{いちけんきん} ^{むすか} ^{とき} ^{じぶん} ^{まも}」^{いの} が守られることを祈りましょう。そして牧師にも話して祈って戴きましょう。(参照：P94)
- ◆ 十分の一献金は額面か手取りかと考えるより、^{しんこう} ^{かんしゃ} 信仰により、感謝と「^{かんが} ^{さんしやう}」^{してん} の視点で考えましょう。(参照：P94～95)
- ◆ 経済的に厳しくても、^{けんきん} 献金することは良いことですが、^{かみ} ^{わたし} ^{けいざい} ^み ^す 神が私たちの経済を見過ごされないと信じると共に、「^{しん} ^{とも} ^{つか} ^{かんが}」^{さんしやう} を大切にし、それをどのよう^{さんしやう} に使うか考えましょう。(参照：P95～96)
- ◆ なかなか祈れないと思う人は「^{いの} ^{おも} ^{ひと} ^{いの} ^{たま} ^{しゅ} ^{まえ} ^で」^{いの} をするように祈りましょう。御言葉に^み ^{ことば} ^{おうとう} 応答したり、「^{さんしやう}」^{いの} をもって祈ったり、黙って主の前に出るだけでも祈りになっているのです。(参照：P96～97)
- ◆ 聖霊の「^{せいれい} ^{しん} ^{もと} ^{いの} ^{こと} ^{せいれい} ^{ゆた}」^{さんしやう} は求めましょう。でも異言に^{いげん} ^{かみ} こだわらず、神をたえ、「^{さんしやう}」^{いの} し、とりなしの祈りをし、祈り込んでみましょう。そして聖霊に委ねていきましょう。(参照：P97～98)
- ◆ 経済的に厳しくてもできる限り「^{けんきん} ^か ^{しんとかん}」^{さんしやう} はせず、どうしてもしなければならぬときは安全な所(公的機関)から^{あんぜん} ^{ところ} ^{こうてききかん} 借り、信徒間ではしないように^{しんとかん} ^{おこな} しましょう。もし行^{さんしやう} うなら「^{さんしやう}」^{さんしやう} などを用意し、トラブルにならないように^{さんしやう} しましょう。(参照：P98～99)
- ◆ 教会で個人的に何かを販売するのは難しいでしょう。お金に関わることは「^{きょうかい} ^{こじんてき} ^{なに} ^{はんばい} ^{むすか} ^{かね} ^{かが}」^{さんしやう} するべきです。(参照：P100)

いの お祈り

てん かみさま すく けんきん もの かんしゃ
 天の神様、救われて献金のできる者となれたことを感謝します。
 よろこ ささ よろこ いの わたし ゆた
 喜びをもって捧げ、喜びをもって祈れますように。どうぞ私たちを豊
 かにしてください。御名によってお祈りします。アーメン。

CHAPTER
3

れんあい けっこん
恋愛・結婚



実践編 (じっせんへん)

テキスト P102~108

れんあい けっこん とうじしゃふたり もんだい かんが けっこん かみ あ ほくし
恋愛、結婚は当事者二人の問題と考えがちですが、神が合わせてくれたものであり、牧師
によく相談して祈っていきましょう。

1

あなたはキリスト教とそうでない結婚式に出席したことがありますか？ どんな違
いと感想を持っていますか？

2

これから結婚する人や結婚するこどもや孫をもっている人は、キリスト教で
結婚式を挙げたいと強く願いますか？

3

なぜ離婚になるのだと思いますか？

4

離婚しない秘訣、幸せな結婚をする秘訣は何だと思いますか？

復習タイム

- ◆ 好きな人が出来たら早めに牧師に相談し、「
]を紹介してもらって二人で読み、
 正しい交際をしましょう。デートで「
]的な負担をかけないようにし、帰りも遅
 くならないようにしましょう。(参照：P102～103)
- ◆ 未信者の人と交際していたら、キリストを信じるように伝道し、礼拝に出席してもらって、
 牧師とも会って親しくなってもらいましょう。信仰の一致は「
]の一致です。
 (参照：P103)
- ◆ 結婚を決めたら相手が未信者でもキリスト教で式を挙げ、牧師が「
]をするよう
 に求めましょう。式までの流れを牧師から教わり、「
]を受けましょう。
 結婚式で神の前に「
]をすることはとても重要なことです。結婚後のことも牧師
 と話し合ひましょう。(参照：P104～105)
- ◆ 結婚式についてですが、式は神への誓約が中心で大きな違いはありません。でも
 「
]は無や規模の大きさ、場所、費用など個人差があります。「
]
 の意向も含め、二人でよく話し合ひて決めましょう。教会に「
]があ
 るかを確認し、結婚感謝献金や、司式者、奏楽者などへのお礼も考えておきましょう。
 (参照：P106～107)
- ◆ 離婚は良くないですが、事情によってさまざまな判断がなされる問題です。何度でも時間
 をかけて牧師や信仰の先輩に相談し、祈りましょう。多くの「
]が伴うので
 軽く考えるてはならないことです。(参照：P107～108)
- ◆ 離婚は「
]です。でもキリストの赦しがあります。真摯に祈り、悔い改め、相手に
 誠意を尽くす者でありましょう。(参照：P108)

いの お祈り

てん かみさま けっこんしき かみ まえ せいやく かんしゃ
 天の神様、結婚式において神の前で誓約できることを感謝します。
 かみ あ かくしん も かぞく しゅくふく
 神が合わせてくださったと確信を持って、それぞれの家族が祝福
 されますように。主の御名によって祈ります。アーメン。

CHAPTER
4

かてい
家庭



実践編 (じっせんへん)

テキスト P110~116

1

あなたの^{かてい}家庭はクリスマンホームですか？ クリスマンホームになることを願^{ねが}いますか？

2

あなたはどんなクリスマンホームを^{きず}築きたいですか？

3

P110 ~ 116 まで^よ読んで、自分が今、一番力を^い注ぎたいものは何^{なん}でしたか？ その^{ため}に^{くたいてき}具体的^{おこな}に行おうと思^{おも}ったことがありますか？

4

^{かてい}家庭^{しつもん}について^{なや}質問や^い悩み^{はんい}があったら、(言^いえる^{はんい}範囲^{はな}で)お話し^{はな}してください。

復習タイム

- ◆ クリスマンホームはクリスマン夫婦^{ふうふ}でできますが、その家庭^{かてい}にいつもキリストがおられるということです。「
おこな
で行い、こどもが与えられたら「
かぞく
う。家族そろって教会の「
さんしょう
(参照：P110～111)」を捧げることは素晴らしいことです。
- ◆ クリスマン夫婦^{ふうふ}であっても意見^{いけん}が合わないことはありますが、伴侶^{はんりよ}の意見^{いけん}、伴侶^{はんりよ}そのものを「
しせい
」する姿勢^{だいいし}をいつも大事^{だいじ}にしましょう。
(参照：P111～112)
- ◆ 聖書^{せいしょ}的な子育て^{こそだ}とは、神^{かみ}を「
こ
」する子^こに育て^{そだ}てることです。その為^{ため}に夫婦^{ふうふ}が「
あい
」を愛^{あい}し、「
あい
」に愛^あし合^あっていることをこどもに見^みせましよう。教会^{きょうかい}学校^{がっこう}などでも他^{ほか}の大人^{おとな}から教^{おし}えられ^たいことが大事^{だいじ}であり、こどもがやがて「
れいはい
」で礼拝^{れいはい}に出^{しゅっせき}席^{じりつ}し自立^{しんごうしゃ}した信仰者^{しんこうしゃ}になるよう育て^{そだ}ましよう。
(参照：P112～113)
- ◆ 献児式^{けんじしき}とは、子^この心身^{しんしん}の健康^{けんこう}と霊的^{れいてき}「
いの
」を祈^{いの}っていただき、親^{おや}が神^{かみ}から託^{たく}された子^ことして育て^{そだ}ていく「
あらわ
」を表^{あらわ}す式^{しき}です。(参照：P113～114)
- ◆ こどもが礼拝^{れいはい}中^{ちゅう}静^{じやう}かに出来^{でき}なくても「
たいおう
」をもつて対^{たい}応^{おう}しましよう。こどもは大切な「
しや
」者^{かみ}、神^{かみ}のこどもです。こどもに対してビジョンをもつていきましよう。(参照：P114～115)
- ◆ 家族^{かぞく}の救^{すく}いは、神^{かみ}のみこころですので、救^{すく}われることを信^{しん}じて祈^{いの}り、愛^{あい}をもつて接^{せつ}し、「
さんしょう
(参照：P115～116)」しましよう。

いの お祈り

てん かみさま かみさま しんこう も わたし かぞく すく
 天の神様、神様がまだ信仰を持っていない私たちの家族を救って
 くださり、素晴らしいクリスマンホームを築けますようにお願
 いいたします。御名によって祈ります。アーメン。

CHAPTER
5

しごと
仕事



実践編 (じっせんへん)

テキスト P118~122

1

あなたは職場で、どの位、神様のことを思い出しますか？

2

あなたがクリスマンであることを、職場のどの程度の人々が知っていますか？

3

あなたは職場で証しや伝道ができますか？言葉で言えないけれども何かで信仰をあらわ表していることがありますか？

4

仕事について質問や悩みがあったら、(言える範囲で)お話しください。

復習タイム

- ◆ 仕事を選ぶときは、出来るなら「
」が守れ、「
」が与えて下さったと確信でき、それによって主のために働いている実感があるものを祈って選びましょう。(参照：P118～119)
- ◆ 転勤がある場合は、牧師とよく相談し転勤先で出席する教会を決めましょう。「
」や「
」をどうするかも相談しましょう。(参照：P119)
- ◆ 仕事で礼拝に出席できない場合はどこかで礼拝の時を持ち、「
」は聞くように心がけましょう。(参照：P119～120)
- ◆ 職場で神棚参拝や地鎮祭などを行わなければならない時は、他の方のなさることを「
」しないで、『私はクリスチャンなので自分なりの祈り方でさせていただきます』と言えるといいかもしれません。偶像礼拝をしないでいられるよう、神の守りを祈りましょう。(参照：P120～121)
- ◆ 仕事上お酒を勧められたら、「
」に断り、お酒によらない楽しい付き合いをしていくことが大切です。(参照：P121)
- ◆ 職場の人間関係が上手いかなくても、「
」ことを実践し、その方の救いと「
」を祈りましょう。うわさ話、「
」、悪口などの仲間には入らず、聞いても「
」しないようにしましょう。(参照：P121～122)

いの お祈り

天の神様、神様が職場の中の色々な事柄の内にも働いて下さることを感謝します。世の中に流されないで、クリスチャンとして、良い影響を与えられますように。アーメン。

CHAPTER
6

そうぎ はか
葬儀・墓



実践編 (じっせんへん)

テキスト P124~128

1

あなたはキリスト教きりすときょうの葬儀そうぎに出席しゅっせきしたことがありますか？ どのようなことことが心こころに残り
ましたか？

2

あなたは仏教ぶつぎょうの葬儀そうぎに参列さんれつした時とき、クリスマンとしてどのように臨のぞんだら良い
か知しっていましたか？ 分わからないことがありますか？

3

あなたは遺言状ゆいごんじょうを書いて、同じものものを家族かぞくと牧師ぼくしに渡わたしてありますか？

4

葬儀そうぎや墓はかについて質問しつもんや問題もんだいがあったら、(言える範囲いはんいで)お話しはなしてください。

復習タイム

- ◆ 仏教の葬儀に参列する時は、「^{ぶつきょう そうぎ さんれつ とし}」をせず、^{しょうこうだい ところ}焼香台の所で、^{いそく なくさ}ご遺族の慰めを^{てんちそうぞう かみ いの}天地創造の神に祈りましょう。葬儀ではできる限り「^{そうぎ}」をするのが良いでしょう。(参照：P124～125)
- ◆ クリスマンになって^{だんか や}檀家を止めたい場合は^{ばあい てら}寺に、^{はか しょぶん}墓を処分する場合は「^{そうだん てつづ}」に相談し、^{きょう そうぎ}手続きをしましょう。キリスト教の葬儀では「^{ほち まいそう}」の墓地に埋葬できないこともあります。^{まえ しら}前もって調べておきましょう。(参照：P125～126)
- ◆ 未信者の家族の方でも亡くなった時は、「^{そうぎ}」で葬儀をしていただけるよう、^{ほか かぞく しんせき りょうかい え}他の家族や親戚に了解を得ましょう。^{ぼくし そうだん しきじょう そうぎしゃ}牧師とすぐ相談して式場や葬儀社の手配をしましょう。(参照：P126)
- ◆ キリスト教では『〇回忌』というものはなく、「^{よ な}」という呼び名で自由に行くことができます。^{みしんしゃ しんぞく はいりよ きねんかい おこな}未信者の親族に配慮して記念会を行うことも大切です。(参照：P127)
- ◆ 家族が未信者の方は、^{かぞく みしんしゃ かた}自分が亡くなったらキリスト教で葬儀をし、「^{ぼくし きぼう}」として牧師を希望することを「^{かぞく}」に書き、^{ぼくし あす}家族と牧師に預けておくと良いでしょう。(参照：P127～128)

いの お祈り

^{てん かみさま} 天の神様、^{じぶん てん め}自分が天に召された時に、^{そうぎ とお}葬儀を通して証・伝道ができることを感謝します。^{じぶん そうぎ さんれつ とし}自分が葬儀に参列する時も、^{ただ}正しいふるまいをしてあなたを悲しませることがありませんように...。^{ふっかつ しゅ かんしゃ}復活の主に感謝して、^{みな いの}御名によって祈ります。アーメン。

CHAPTER きょうかいかん
7・8 教会間のことで・その他



実践編 (じっせんへん)

テキスト P130~138

1

あなたの教会の良い所はどこですか？ 他の教会に行ってみたいと思うことはありますか？

2

他の教会のクリスマンの友人を持っていますか？ 良い点、あるいは気を付けた方がよいことなど感じたことがありますか？

3

まだ言っていないが、牧師に話しておいた方がよいとおもっていることがありますか？

4

キリスト教についてどんなことでも疑問や質問があったらお話しください。

復習タイム

- ◆ 教会を移りたいときは牧師に相談しましょう。手続きとしては「
仕事などの理由でなく、教会を転々とするのは良くはありません。(参照：P130～131)
- ◆ 他教団、他教派に移りたいときは牧師によく話をし、理解の上、転籍の手続きに入るよう
にすべきです。「
」の違いをよく調べておきましょう。(参照：P131～132)
- ◆ 出張や旅行で他の教会の礼拝に出席したいときは、牧師に連絡し指示を受けると共に、
自分の教会の特別な「
」にぶつからないようにしましょう。他の教会のイベント
に出席したいときも牧師とよく相談し、その教会の「
」にならないようにしまし
ょう。(参照：P132)
- ◆ 他の教会の信徒と交流を持ちたいときは母教会と相手の教会の牧師の「
」を得ま
しょう。やり取りは神の前に出せるものであるべきです。クリスチャンの良い友人となり
ましょう。(参照：P133)
- ◆ 教会で体調が悪くなったりしたときの為に、自宅や連絡先、かかりつけの病院や大事な
「
」など牧師に伝えておきましょう。(参照：P134)
- ◆ 心の病があって、伝道、奉仕、交わりが難しい時は、牧師に自分の状況を説明して、
「
」ところから行ったら良いでしょう。まずは病の回復を第一にしましょう。
(参照：P135～136)
- ◆ 教会では「
」活動は控えましょう。(参照：P136)
- ◆ 病気になったとしても、神は見放したりしません。癒しを神に祈りましょう。休息が必要
なのかもしれません。病の中でも神の臨在を覚えたり、他の病人のとりなしの祈りをした
り、看病して下さる方々への「
」と祝福を祈りましょう。(参照：P137～138)

いの お祈り

天の神様、神様がこの教会に導いて下さったことを感謝します。
何でも牧師先生に相談し、信仰の先輩である良い兄弟を見習い、
互いに祈り合って、恵み豊かな信仰者にしてください。アーメン。